

授業科目名	教育相談	必修	開講年次	2年次	単位数	2
科目区分	教科に関する科目（生徒指導、教育相談等に関する科目）					
サブタイトル	中・高等学校における教育相談概論と方法	担当者	橋口 武信			
講義概要	<p>【概要】学級崩壊、不登校、いじめなど現代の児童・生徒の問題行動は多岐にわたる。問題行動の指導は、特別活動や学校行事等を通して集団の力を活用する方法と教育相談の技法を活用して個々人へ関わる指導方法がある。学校教育相談は、治療的な指導だけではなく、児童・生徒の発達の側面に力点を置いて行われる。カウンセリングの技法を活用した学校教育相談の概論及び具体的方法について講義する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>カウンセリング及び学校教育相談の理論や技法について理解をする。さらに、いじめや不登校、校内暴力等の問題行動発生 of 要因を考察し、その解決策や治療方法等を習得する。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】必要によりプリントを用意する</p> <p>【参考書】参考書等は随時紹介する</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、カウンセリング、教育相談概論					
2	児童・生徒の問題行動の現状（いじめ、不登校、校内暴力、高校中退など）					
3	問題行動発生の心的要因（本人、家庭的要因）					
4	問題行動発生の心的要因（学校、社会的要因）					
5	カウンセリング概論					
6	カウンセリングの方法（ロジャースの来談者中心療法）					
7	学校教育相談の方法					
8	学校教育相談の推進の方策（環境、計画、組織）					
9	生徒理解の方法					
10	構成的グループエンカウンター of 理論と方法					
11	交流分析 of 理論と方法					
12	広汎性発達障害児 of 指導法					
13	不登校生徒 of 理解と指導					
14	いじめへの予防と対応					
15	教育相談 of 年間指導計画 of 作成					
評価方法	<p>① 授業出欠状況による評価</p> <p>② 2回の論文 of 提出による評価</p>					
評価基準	<p>①授業時間の3分の1以上欠席した者は、試験資格を失う。</p> <p>②上記授業内容についてよく理解し適切に表現できた者には「A」を、理解や表現に不適切な点がある者には、その程度により「B」または「C」を、理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」とする</p>					
その他	特になし					